

成果が問われる時代の成果のあがる観光施策

開催概要

自治体の新任観光担当者を想定対象者とし、観光担当者として必要な知識とノウハウを総合的に習得してもらう講座として毎年6月に実施している。旅行マーケットの動向、観光計画策定方法、観光プロモーション、旅行商品化、観光情報提供、国際観光振興、宿泊施設の運営方策などを基本テーマとする。02年度は、国際観光では中国からの訪日観光ツアー誘致に成功している長崎県の取り組み、宿泊施設では優良第3セクター宿泊施設のノウハウ、情報発信ではホームページを利用したマーケティングや顧客獲得などを扱い、総括として東京工業大学名誉教授の鈴木忠義先生が観光原論を講義された。

担当者： 麦屋弥生 巻山隆 岩崎比奈子 渡邊智彦

日 時： 02年6月20日～21日

場 所： 第一鉄鋼ビル会議室

主 催： (財) 日本交通公社

プログラム

6月20日

10:00～10:30 オリエンテーション

10:30～11:45 旅行マーケットの変化

講師：(財)日本交通公社 主任研究員 種田守孝

12:45～14:00 観光のPR戦略とエージェントとの連携

講師：白山連峰合衆国 大統領 南修氏

14:15～15:30 自治体職員が実践する国際観光振興

講師：(社)長崎県観光連盟 海外誘致課長 井川博行氏

15:45～17:00 3セク宿泊施設の黒字経営の秘訣

—広島県君田温泉森の泉—

講師：広島県君田村 企画振興課長 古川充氏

17:00～19:30 受講者自己紹介／意見交換会

6月21日

9:30～10:45 自治体による観光計画策定

講師：流通科学大学 教授 小久保恵三氏

11:00～12:15 自然体験ツアーの開発による地域の誘客戦略づくり

講師：(財)日本交通公社 市場調査室長 寺崎竜雄

13:15～14:30 観光を取り巻く最近の話題から

○米国同時多発テロの国内観光地への影響と今後の動向

○温泉観光地の活性化 —群馬県草津温泉「泉質主義」宣言事業—

○観光による地域への経済効果 —沖縄県、北海道—

○農村景観の観光活用 —全国10地域の先進事例から—

14:45～16:00 観光地のIT戦略

—ホームページによる情報発信からファンづくりまで—

講師：(財)日本交通公社 主任研究員 久保田美穂子

16:00～16:45 総括

講師：東京工業大学 名誉教授 鈴木忠義氏

参加者概要

参加者数 38名 (募集定員 30名)

(内訳) 都道府県3名、市町村7名、都道府県観光協会(ビューロー)4名、市町村観光協会9名、
公的宿泊施設6名、コンサルタント6名、その他3名